

自己評価報告書

平成 23 年 3 月 31 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20592540

研究課題名（和文） 若年乳がん生存者の情報ニーズに応じた支援プログラムの開発

研究課題名（英文） Developing a support program for the unmet information needs in young breast cancer survivors

研究代表者

宮下 美香 (MIYASHITA MIKA)

広島大学・大学院保健学研究科・教授

研究者番号：60347424

研究分野：がん看護学

科研費の分科・細目：看護学・臨床看護学

キーワード：看護学、癌

1. 研究計画の概要

(1) 若年乳がん患者の情報ニーズ調査 (2008 年度～2009 年度)

45 歳以下で乳がんの診断を受けた女性を対象としたフォーカスグループディスカッションを行い、情報ニーズを明らかにする。

(2) 若年乳がん患者の情報ニーズ充足度に関する調査 (2010 年度)

45 歳以下で乳がんの診断を受けた女性を対象とし、情報ニーズがどの程度充足されているか、定量的な調査を実施する。

(3) 若年乳がん患者の情報ニーズに対応する支援プログラムを開発する。(2011 年度)

2. 研究の進捗状況

(1) 若年乳がん患者の情報ニーズ調査 (2008 年度～2009 年度)

52 人の研究参加者を 4～7 人のグループに分け、グループディスカッションを行った。日程の都合により参加できなかった 2 人には個別インタビューを行った。主な調査内容は、診断時から調査時点までに、乳がんとその治療に関して経験した諸問題、入手しなかった情報や支援とした。結果、研究参加者は、医学的な事柄だけでなく、心理社会的な様々な困難を有していることがわかった。特に、医療者とのコミュニケーションに関する内容が多く語られた。また、妊孕性の問題や、親・配偶者・子どもとの関わりなど若年特有の困難も見いだされた。本調査結果より、コミュニケーションに関する教育、若年特有の問題に関する情報提供の必要性が示唆された。

(2) 若年乳がん患者の情報ニーズ充足度に関する調査 (2010 年度)

2 つの医療機関のいずれかに通院する 45 歳以下で乳がんの診断を受けた女性 307 人へ調

査票を配布し、郵送により回収した。主な調査項目は、情報ニーズ充足度、QOL とした。情報ニーズ充足度は、50 項目の情報ニーズに対する満足度を「とても満足」「まあ満足」「やや不満」「不満」の 4 段階評定にて尋ねた。QOL は WHO/QOL-26 を用い評価した。結果、230 人 (74.7%) より回答が得られ、そのうち 201 人 (65.5%) を分析対象とした。調査時点と診断時の平均年齢はそれぞれ 45.2±6.6 歳、40.1±4.3 歳であった。情報ニーズ充足度について、医療者からの情報の中で最も充足されていないニーズは「医療者とのコミュニケーション全般」であり、57 人 (28.4%) が「やや不満」/「不満」と回答した。QOL は比較的良好であった。また、情報ニーズ充足度と QOL とに有意な関連がみられた。今後、若年乳がんサバイバーが必要とする情報を入手することができる仕組みを構築し、若年乳がん生存者の QOL 維持向上を目指すことの必要性が示唆された。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

(理由)

当初の計画どおり進展しており、学術集会での研究成果の発表を通じ、結果を公表することもできている。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、充足されていない若年特有のニーズへ対応できる支援プログラムの開発を行う。まずは小冊子で情報を提供し、更に本研究課題へ取り組む中で作成したホームページを通じ、広く情報発信を試みる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計0件)

〔学会発表〕(計2件)

1. Mika Miyashita, Miyako Takahashi. Difficulties faced by young female breast cancer survivors in Japan: A comparison of the under 36 year-old and the 36 to 45 year-old female survivor at the diagnosis. 34th Oncology Nursing Society Congress, 30 Apr- 3th May, 2009, San Antonio, USA.

2. 高橋 都, 宮下美香: 若年患者が直面する心理社会的困難と支援ニーズ-社会文化的背景に基づいた支援策への提言. 第16回日本乳癌学会学術総会, 2008, 9/26, 大阪市.

〔その他〕

ホームページ

<http://square.umin.ac.jp/breast09/>

新聞掲載

中国新聞 17面 2009年9月2日